滿洲日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送達人并無分毫加增
○告白價
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登一月者每行每日一角登長年者價當面議從減 每張四百文

Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

一ヶ月以内[illegible]
一長期連揭減價面議
發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社 (電話二九番)

[illegible] 市元百六吊百五十六三吊二百
紅帽價錢元吊四百文至五吊
馬車共上車至十餘輛
共來七十餘輛
元百六吊九百至六吊八百

一連紙 一連 一圓
一フールスカツプ 仝 四圓
一中判洋紙 仝 二圓
一牛紙 百枚 二十錢
一巻紙 四十枚續 十四錢

一椅子 一圓五十錢以上四圓五十錢
一寶箱 三十圓以上三十五圓
一卓子 四圓五十錢以上十三圓五十錢
一掛 六圓以上十二圓
一廚房用戸棚 七圓五十錢以上十圓

一長火鉢 八圓以上十六圓五十錢
一箱火鉢 二圓以上十一圓五十錢
一宜德火鉢 一對 六圓以上三圓五十錢 六圓以上九圓

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓

本支店出張所
横濱 神戸 東京 長崎 大阪
倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺

電話 十番 支配人室 百八番 事務室

横濱正金銀行牛莊支店

本月十八日ヨリ中央金庫事務及一般銀行業務取扱申候

明治卅九年六月 横濱正金銀行遼陽出張所 主任 中村得三郎

日本郵船株式會社 滊船出帆廣告

苫島丸 二十日午前 門司四日市行
營口丸 廿一日出帆 大沽、芝罘 門司、神戸行

乘船切符發賣は出帆前三時間マデ 未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ

營口代理店 旗昌洋行 (電話二六番)

滊船出帆廣告

摩耶山丸 二十日門司、神戸、大阪行
第三琴平丸 仝 同
御代丸 仝 門司、横濱行
第二元山丸 仝
萬城源丸 仝

龍口、登州府定期航路

海岸東稅關西 松茂洋行船舶部 電話(五二)(五七)

大阪商船株式會社 營口 滊船出帆廣告

盛航丸 十九日入港

代理店 ブツンニ兄弟商會 東營口公園地横 遠來洋行 (電話二十三番)

宅洋行

啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞子絨布手巾花巾洋膩火柴錶表等類價值格外克己並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業所便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意竭誠悉心接洽款有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人[illegible]特周詳偉可面商一切事宜幸中外士商[illegible]其誠實無欺惠臨賜顧易勝榮幸之至 總司理人 田中賴之助謹白
開設老爺閣街同盛德院内 電話(店一八三番 住所五五番)

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廠東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡勁輪一船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼設有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人 葉亮卿謹白

東永茂

本號在營口創辦油榨生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚週遍知之
正理事 潘玉田 副理事 金德魁
設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外 士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號

保裝運各幫火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北營乙第十三號

丸三洋行分莊

啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式褂子以及各樣雜貨俱全無不精美價值格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸
丸三洋行分莊謹啓

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街 東 西義順棧内 西 櫃(電話九十五番) 櫃(電話九十八番)

代代木烟公司

本行專售 日本官造紙烟 星象牌(斯達)櫻花牌(撒科)百合花牌(利利)均已馳名内外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌(隆沾來福)清香撲鼻佳美適口而價值極廉 諸尊欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

遼河運輸 同濟公司

本號歸官准由營口包運東清遼河各埠車船貨物兼辦客商有運之貨留交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙貴商光顧者請至本號面議特仰週知
營口南永世街 同濟公司總局
馬蜂溝 同濟公司分局
營守屯 同濟公司分局
通江子 同濟公司分局

S.P.

糸平公司

本舖在日本開業以來一百餘年今特於本埠開設支店所有發賣物品貨美價廉如蒙中外士商賜顧請至本行購買可也今將自製布類列下東洋各色絨毯各式被面各色布疋什棉綿布其他一切織物概行發賣並特約販賣(正日光)皮帶煙及各樣雜貨尤廉減特此廣告 營口元神廟街元神廟西側 朝日ビール販賣 (電話一百九十[illegible]號)

三井

電話 第六十六號 第九十一號

○發售新到洋白糖

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

倉庫部 經理

今回倉庫所在地(青堆子精搗場上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候 (電話百二十八号)

○明治火險公司

本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米

○東京水險公司

啓者本公司開設在三井洋行内已久實存資本百五十萬元 分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

三井洋行啓

啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨屯集資本浩繁有保險以維持之可以有恃無恐法至良意至美也小行經理日本明治火險公司已歷多年幸蒙中外所信用前有郭漁笙朱斐章 王鹿芹 先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦 諸貴商所樂聞乎如蒙 賜顧請逕至大德亨内面議可也

營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於天數客惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即般實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉 僕等承三井洋行謬愛囑爲代理日本明治火險公司保險各事 僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克已 諸公賜顧請 駕臨大德亨内面議不誤
王鹿芹 朱斐章 郭漁笙 仝啓

洋行

電話 第六十六號 第九十一號

鐵道 遼河 裕和盛運輸局

(電話八十一號)
任東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本號向在日本長崎開設數十年幷店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人 周鶴雲 運輸部主任 高濱麟太郎 謹啓

銃砲火藥軍刀販賣業

本行蒙 官允准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈等類物美價廉零整發售如蒙中外士商賜請至本行面議可也

官許商 武田洋行

營口元神廟街第十號

煉瓦及雜貨販賣

營口元神廟街十號 東海洋行
主任 針生安次郎 張貴良

關東玻璃公司

本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉光顧者請至營口永世街
第五號 門牌便是

繩叺莚販賣廣告

精々强勉仕候間不拘多少御注文奉願候尚ほ當地にて御入用之御方は南永世街三十七號地岩村眞藏方へ御申越被下度候
大連市西通り二丁目四十三號地
東京 門倉出張所

丸重洋行 貨物運輸

啓者本行前在營口臺實雜貨已有年今經關東總督府之特准開辦東清鐵路運貨不論貨種多少以安全迅速誠實廉値籌貨主之利便爲旨如蒙中外士商光顧請來營口西北街本洋行或牛家屯火車站構内分莊面議不悞
電話 營口 拾八番 牛家屯 四拾六番

青堆子 菅野玻璃廠

玻璃器什遠運必有破壞從價不廉茲本主人開辦玻璃廠特聘許多好手藝之人自造各樣洋燈罩子瓶碟等凡所有玻璃器什類一概發賣價値公道主顧不誤官商幸給顧光特告白
本主人謹白

營口 華盛通轉運行

啓者本行專以代客運送各城貨物格外從廉倘蒙貴商光顧請至本行面議可也各站口皆有分設帳房格外周到不誤主顧現居西水晶宮東頭裕順興内特仰周知
本行總理事人 楊兆豐 敬啓

森醫院

營口永世街
院長醫學得業士 森 矯

啓者本院雖開辦日淺刻已招聘醫員增加看病人購入醫療器械修補手術室並養病室萬端設備日形進境自四肢五臟之病以至打撲創傷等類皆能立刻醫治頃者更添設齒科特招聘該科專門醫兒島市郎君已自四月八號起開辦從事齒患者之治療按齒牙之於人體極有密切之關係其健否即不翅繫胃腸之健否缺落一齒則音聲爲之溷濁面貌爲之失形況疾患權於齒牙始雖一小齲齒漸次侵蝕隣齒遂使全齒失其咀嚼之力疼痛不可言狀轉輾反側至爲難堪因之東國夙有齒科專門之醫研究多年備極蘊奥巧技入神齲齒凹窩則須薌去疼痛而後塡塞以金銀護模西門土等品若門齒缺落則以磁製之義齒欲入齒株無殘根者則以護模製之座床刈植義齒具他或藍齒頭以金冠或欲入義齒不須床架巧技殆奪造化之妙若有齒株無要者則因藥液之力拔去毫無疼痛今世患齒牙者日多而治療之法日益進步幾不覺有齒患矣然中國醫界之風潮尚未發達治齒之術措而不問殊爲憾事本院主引爲已憂測然感動特添設齒科招聘專門大家以從事齒患者之治療刻設備已全施治懇到具術極巧其價極廉以期普遍救治並參揮近世東瀛醫術之進步務望大方君子有齒患者幸早臨治療勿自貽誤此佈

齒科部

主任齒科醫士 兒島市郎

志岐組 木料棧 材料出售

啓者本棧開設鎭口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價値格外從廉克已凡中外士商光面議願請到本棧

東京電報 (十六日發電)

●統監歸任と御陪食 伊藤統監愈々歸任に付近日宮中に於て御陪食仰付けらるへし

●英國艦隊の入港 英國支那艦隊十五日長崎に入港せり

●京釜總會の紛擾 京釜鐵道會社總會は慰勞金問題にて紛擾せり

●楊公使辭職の說 淸國學生問題にて一たび辭職すへしと傳へられたる駐東京淸國公使楊樞氏昨今又々辭職の噂あり

大連電報 (十六日午後四時特派員發)

●東郷大將の出發 東郷大將石塚民政長官小田切正金滿洲支店長等本日午後四時發三好野丸にて歸朝の途に就く

奉天電報 (十七日午後一時特派員發)

●稅關問題開議の說 山座政務局長等安奉鐵道に由り昨十六日着奉せり直に稅關問題に就き交涉を開始すべしと傳へらる

北京電報 (十七日發電)

●雲照律師の出發 釋雲照律師今十七日安東縣に向ひ出發せり

●佛國の駐兵撤退 佛國は十月迄に北淸駐屯軍の半分を撤去すべし

倫敦電報 (十六日發電)

●演說妨害者の退場 英國ノルサムプトンに於てアスクイス氏演說中婦人選擧權運動派の一團妨害をなしたる爲め退場を命せられたり (十七日發電)

●露國各市府の不穩 露國ピロストツク地方に於ては軍隊と人民との鬪爭今猶絶えず戒嚴令を布せらる、デルトロスキーに於ても暴徒の蜂起あり取引所に於ける露國株式は暴落を示せりモスコウ最も不安の狀態にあり街路に於ける示威運動は毎日繼續せり、ペテルスボルグに於ては主要なる工場附近に守備兵を增加したり

雜報

●露國の北滿經營 露國人は黑龍江省にて有ゆる利權を掌握せんかため多くの工夫を使用して經營に從事し又各所の森林を伐採して淸國人の伐採を許さす更に齊々哈爾より璦琿に至る鐵道敷設の計畫をなし將軍程德全之を拒むも露國は占領地に於ける行動に就ては貴國の干涉を受くる限りにあらすと答へて應する色なしといふ

●內閣の組織改正 北京內閣は從來政府最要樞にして萬般の行政は之より出で居りしが先に軍機處及政務處の設立以來些の實權なく行政は皆な政務處より施行さるゝの有樣なるより今回これを改正して全國に於ける行政の統權を握る筈なりと云ふ

●日米直通電線 米領グアムより小笠原島を經て東京に達すべき海底電線敷設工事は既に竣工したるかの如く傳ふるものあるも同工事は未だ全部竣工するに至らず且つ昨今天候險惡なる爲め工事捗々しからさる由にて未成部分の工事進まず從つて竣工期も何時頃となるや明ならずと云ふ

●昌圖以北鐵道守備 今回露國より受領せし昌圖公主嶺間の鐵道は八十八基米突餘にして一基米突に十五人の守備兵を配置する時は一千三百四十八人を要す即ち平時編成の約一箇聯隊の兵數となるへし昌圖方面は露軍より解放せられし馬賊の橫行甚たしき地なるを以て媾和條約の最極限數十五人を配置し守備を嚴にする必要あり依つて之か守備兵は昌圖方面より派遣し其補充は遼陽の守備基地より遞次分派する筈なり

●汽車運賃低減の議 近來本邦各鐵道に於ける荷客の運賃比例は歐米の夫れと殆と反對の現象を呈して旅客の三に對し貨物は二の割合なり然るに船舶の增加に伴ひ其運賃の低廉なるより荷主の多くは皆船積に依る事と爲りたる結果鐵道貨物の收入に減少を來たしたるを以て作業局にては今回現行運賃の大整理を行ひ一般貨物の運賃を低減せんとの議起り昨今其調査中なりと

●我浦塩航路の强敵 露國が戰後經營として東亞に着々其步を進めつゝあるは瞭然たる事實なるが今又日本海の航路に向つて新航路を開かんとし東淸鐵道會社は露國政府保護の下にモンゴリヤ號(二千九百七十三噸)を以て東京特電の如く愈々烏港敦賀直航を開始すべしと云へば尠くとも一週一回は往復すべく之が爲め我海運業者中同航路に從事し居るものは少からさる影響を蒙るべしと云ふ

●鴨綠江森林經營 鴨綠江畔の森林は目下陸軍の使用する材料多き爲め陸軍省の手にて伐採しつゝあるも明年四月以後は日淸合同資本の下に經營さるゝ筈なれは當局者も成るたけ速に經營に着手せんとの方針にて昨今其方法調査中なり而して總資本二百萬圓の中百萬圓たけは淸國より支出する事に定まりたりと

●露兵の殘忍 去月中盛京省西豐縣築河店にて露國騎兵八名闖入し附近往來の婦女を姦し其儘逃走せんとするより村民現場へ押寄せたるに露兵は帶劍を閃かし無辜の良民數十名に重輕傷を負はせ內男十名女二名は即死したるか露國官憲は之を以て露兵の所爲にあらすと主張し居れるも屍體檢査の結果十八歲の橫死婦人の腹中より露國式銃劍の折れを發見せる爲め同官憲も已むを得す露兵の所爲なる事を承認したりと

●大連開放設備 南滿洲鐵道株式會社に關する勅令は前報の如く愈々公布せられたるか同鐵道と最も密接の關係を有する大連灣は已に自由港となすに確定したる以上鐵道の經營に着手すると同時に同港の棧橋を始め水陸聯絡等に關する設備に着手する筈にて其費額は約二百萬圓の豫算なりと

●露領の邦人數 邦人の露領に入る者日に多きを加へつゝあるとは豫て聞及べる所なるが目下浦港に在留するもの約二千名に達し商店四十三戶、醫師七名、裁縫職四戶、洗濯業四戶、大工職七戶、理髮職六戶、金銀細工職二戶、時計職四戶、鍛冶職五十名、貸座敷十七戶なり又ハバロフスクには約二百名ニコリスクには約二百五十名の在留者ありブラゴウエヴチエンスク及びニコライフスクに入込めるもの多少あるべき模樣なるも其數詳ならずといふ

●旅順通信 (十六日發)

▲總督府移轉後の景氣 總督府移轉以來旅順の景氣は頓みに活氣を帶び來り夫れかあらぬか賣婦運の入り込む者一日十八人平均を以てす誤盛んなる事といふべし

▲旅順停車場の收入 昨年十月より此六月上旬に至る旅順停車場の收入左の如し

昨年十月	千百三十二圓
同十一月	五千四十五圓十錢
同十二月	七千七百八十三圓七十錢
本年一月	三千零五十二圓四十錢
同二月	四千九百四十一圓四十錢
同三月	八千六百七十七圓五十錢
同四月	一万千六百五十七圓五十錢
同五月	八千五百二十一圓五十錢
六月上旬	三千二十二圓五十錢

▲旅順搬出の貨物 目今旅順より搬出する貨物は塩、鮮魚、木材等にして木材は露國が防守の當時防材として用ゐたるを拂下けたる物にして淸商の入札購買したる物多く金州營口方面等に輸出さる

▲督府庭內の植樹 總督府其他の官衙の庭內に植樹一万二千本を爲せり是れ農園會が請負ひ內地より搬致したる檜葉類の十年苗にして督府の田中技師、中牟田林學士等管理の下に植付たり十分の二迄は僅かに植着きたり然れども斯の如く成長したる樹を滿洲に移植せんとするは斯道の一問題なりといふものあり

▲舊趾戰蹟の保存 水師營の兩將軍會見所は今回三千圓を以て買上げられ永く旅順開城紀念物として保管することになれり又クロパトキン砲臺も紀念として永く之れを傳へんか爲め埒を設け之れに鐵線を張り廻したり

▲忠魂碑の落成期及費額 今回白玉山に建設する忠魂碑及納骨堂は來年四月迄に於て落成する筈にして之れか費用十二三萬圓を要する豫算なりといふ

▲近海漁業と將來の計畫 目下旅順近海にて漁業する漁舟七十隻ばかりあり豐漁の時は一隻百貫以上の收獲あり鯛最も多し最廉時は白目五錢位なりと昨今之れに據を爲し滿洲內地に輸送せんと計畫する者あり若し之れにして首尾よく成効せんか旅順輸出唯一の物資となるならむ

▲閉塞船の引揚 旅順港口の閉塞船は破壞して地金と爲し引揚けつゝあり即ち佐倉、相模、千代、報國、福井、天津、仁川及び敵の自から閉塞したるシルカ、イトワルデー、シラーチ等にしてヌエンコウは過般浮上り之れを曳きて港內に致さんとしたるに鎖切れて黃金山下に再び沈沒せり然してこれは引上けの見込充分あり千噸以上の汽船なれば之れを地金として賣拂ふも三萬圓の價値あり而かも之れを破壞引上くるに二万圓を要すといふ

▲沈沒船の拂下入札 本月三十日頃港內の沈沒船二十餘隻の拂下入札ある由なり

●滿洲鐵道三事務所 野戰鐵道提理部にては今回大連、遼陽及鐵嶺の三事務所を設置し其所管區域を大連は起點より大石橋(百五十哩)迄及旅順、柳樹屯支線、遼陽は大石橋より奉天(二百四十九哩)迄及營口、撫順支線並奉天、新民屯間、鐵嶺は奉天以北を孰れも其所管區域と定めたり

●政務局長の到奉 本日の奉天特電の報ずる如く山座政務局長は去る十六日午後三時奉天へ到着せられたるが今聞く所に據れば多分城內日淸倶樂部に投宿せる筈にて其今回の交涉用件は種々あるべきも稅關問題の外大連開放に就き先づ交涉を開始すべしといふ

●昌圖以北線の工事 過日我手に受領せる昌圖以北の東淸鉄道修理工事は受領後直に着手しつゝありしが今同方面より歸來せる者の談に依れば工事着々進行して昌圖四平街間は遲くも八月下旬迄には列車の運轉を見るに至るべしとなり

●總領事館の事務開始 奉天總領事館は去る一日開館式を擧行したるも屋舍の修繕完成せざるを以て爾後未だ事務開始せさりしが其期を利用して萩原總領事は鐵嶺昌圖等を視察し一昨日歸奉せられたり然るに該館舍の修繕も略ぼ出來上りたるを以て總領事の視察歸奉と共に館員一同日淸倶樂部より引移り目下開館準備を急ぎつゝあるを以て兩三日中に事務開始の運びに至るべしと十七日發奉天通信の一節に見えたり

●福島少將の來營期 本日の電報欄に掲載せる如く山座政務局長は已に安東縣より奉天へ到着したるが福島少將と共に當地に來着するは來る二十日頃なるべしと云ふ

●內田軍醫の來任 一等軍醫內田鎮一氏は從來安東縣軍政署附の所今回營口軍政署附を命せられ兩三日前着任せられたり

●宮崎參謀長の來營 在遼陽第十六師團參謀長宮崎大佐は昨日來營金城館に投宿せられたり

●東西南北

去る十六日のことであつた、日本名物のその一たる彼の滿洲丸に半打以上の名物男を搭載し來て大連旅順邊りの滿洲名物男の相場を狂はせた一行中の分子(寧ろ大頭株)である此度來營せられた樺山、西、淸浦の各大人に敬意を表すへく、余は豆粕小屋の僑舍を出て軍政官舍を襲ふたのであつた▲丁度晝食の最中に食堂に導かれて與倉中佐から一々一同への紹介が濟むと其儘設けの席に神輿を据た▲樺山伯は劈頭例の重苦しい薩摩辯で以て二三の質問を發せられた、恰で蠻勇內閣の內務大臣であつた當時議院三百の頭顱を罵倒せられしロ調で……▲輕く受流して今度は此方から隣席の西男に『如何です滿洲にお出になると何處にかロスクの舊臭が殘つてゐて彼の斯堡の昔か偲ばるゝてせう』……西男は多年欽差大臣として露都に駐箚せられて日本では露西亜通の三人に數へられた仁であるからである▲豬顏蟲服一見田舍の庄屋然たる男爵は苦笑しつゝ話頭を轉じて當地の市況、淸國人の對外的感情等に就てこれでもない、あれでもないと余か鄙見を徴せられた▲目指せる敵はあれでも人然たる長大の禿顱を撫しつゝ頗る沈着の態度で以て時折々視線を吾輩の長廣舌を弄する口元に注がせ玉ふ淸浦前農相其人こそ、何だか一騎打がして見たい樣な氣がした▲兎角する內に小宴は徹せられ樺山伯は與倉中佐の案內で署內の球戯場に技を試むへく坐を立たれ、續いて西男は自身の居間に去られ、取殘された長顱大人もヤオラ步を應接所に移された▲余は隙さす其後を跟いて大人の瘦軀を橫へられた長椅子の側に坐を占めた▲長顱大人と謂は、前內閣の時代に大浦遞相と並び稱せられ、首相太郎冠者を掌中に翻弄しつゝ囂々たる世論に抗してビクともせさりし豪の者なか〳〵一筋繩で把捉ることの出來ない人物ちや▲談偶ゝ對淸貿易から端緒が開けた、長顱大人徐ろに說き出して曰くサ▲日本の商賣人にも困つたものさ、茲に一つ面白い實例がある、僕が前年即ち日露戰端の開けた當時、京坂地方を巡視した時に、商工業的諸會社の合同を說いた▲當時各商工業者は無限の恐慌に打たれて前途如何を切りに氣にしてゐた際であつたので、熱心に我輩の說を傾聽して吳れたが、其后媾和成立してから、再ひ往て前說を繰返して見るとドウダイ、最早咽元過くれは熱さ忘るゝ譬の通りで、どうして〳〵戰後諸商工業物興の今日合同などは思ひも寄らぬといふぢやあないか、今にも滿洲で日本品か歡迎せられて大口の品物の注文があつたと假定してサア日本商人はどうする考であるか頓と吾輩にはその異意が解らない、そこらになると獨逸商人などは豪い者さ▲僕曰く、成程お說御尤樣、去りながら日本商人も惡からうが政府も良くない、その獨逸を御覽なさい、宰相ビユローの官房には三十年から淸國で布教してゐた頗る付支那通である宣教師が付いて居て一々ビユローの下問を受けて對淸貿易の基礎を造り出すといふではありませんか、日本政府にも對外貿易の上に就てこれ丈の熱心と用意がありませうか▲イヤある段ではない、既に先年も吾輩が當事者であつたとき、種々なる各方面から支那人向商品見本を取寄せて、品質なり用途なり意匠なり一々叮寧に說明を付して當業者間に廻覽させたこともあつた、あつた結果は一向駄目で何ともお話にならなかつた、君等も此邊に留意して當地日本商人の可及的共通連絡に努むる樣に皷吹せられたい▲話は綿々として盡きさるも折から球戯場の方から長顱大人に出馬の催促があつたので、長坐は却て失禮と存して、僕は大人を案內して、來合しも樺山伯かホワイシヤツ一枚となつて、中原の鹿を爭ふて居られた處に赴いた▲如何です一番、僕は球はやらぬがヘボ詩を賦べる、旅順の詩に斯樣のはどうぢや、屍埋塹壕萬骨枯、刧餘城壘付荒蕪、登臨二百三高地、滿目山河新戰圖、南關嶺て忠魂碑を弔ふて、立馬南山頂、金州指顧中、空餘三尺石、千載表誠忠、余は長顱大人の墨痕淋漓たるこの好みやげを携へて官舍を辭し夕陽と黃塵を一緒に浴つゝテク〳〵と蝸の巢に御還任しましたのである(小僧)

●喋言喃語 (一) 牢平

▲歐米各國人の殖民地に於ける其土人に對する態度を見る、英は謹嚴、米は突飛、獨は傲慢、佛は輕佻、露は威喝、而して我れは奈何曰く「お人好し」

▲營口の一淸人我某氏に問ふて曰く、貴國の前代議士と現代議士の差幾何と、某諧謔答を爲して曰く、前代議士とは支拂濟みの手形、現代議士とはそれの未拂なるも時に不渡りとなるを保し難しと。淸人聞いて、ナ、成程

▲去年の今頃はとは棚牡的戰爭儲けを夢想する商界亡者の迷語、今にして米一舛と水一荷の價を知るとかよ

▲木葬尊者へ 此程は小弟かヒゲのお素破拔に預り、何ともヘヤ恐れ入谷の鬼子母神の枕上に立たせ玉ひしより、より多く恐れ入り申候、自からヒゲ致す迄も無之、自体吾等は都の生れに候て、粂仙の御親類筋たる貴下樣方とは少々男振を異に致居積りに候得共、悲哉顎下に鬆々たる疎髯を蓄へ居りしか爲に、毎度お仲間に數へられ、心潛かに口惜しく相感し申居候處、今度計らすも床屋の粗匆よりして、形容を一變候ひしは、分外の天與と衷心感喜に不堪候、自然御艶羨の點も候は丶、御遠慮なくお剃落しの程待申居候、去るにても下界は此節暑さ嚴しく、到る處臙脂も肌もあらわなる女性のもの澤山に候得者、雲間より又々スツテンコロリと御墮落無之樣切に尊者の爲に祈上申候(せうらん)

悔めるを妄言なぞと木葬が去りとてヒゲにさゝもながさじ

髭刈りて羅臺の夢の一夜かな

汽車時刻

關內外鐵道

上り
營口發前八、二〇 七、〇〇
溝幇子同九、四五 九、〇〇
錦州同后三、四五 二、〇〇
山海關着六、〇〇 八、一〇
山海關發前八、一五 五、〇〇
北京(?)
塘沽同后二、二〇 四、一〇

下り
山海關發前七、〇五 四、四五
錦州同后三、三五 二、〇五
溝幇子同 二、四五 四、四〇
營口着 四、五五 七、五一
北京發前八、〇〇
天津同 二、〇九 六、三五

東淸鐵道

上り
新民屯發前六、〇〇
溝幇子着同九、五七
營口發前六、三三 后九、三五
大石橋着同七、二〇 一〇、二〇
大石橋發前八、〇五 后二、〇五
南關嶺后九、〇七 翌后三、〇四

下り
溝幇子發后三、〇〇
新民屯着同六、五七
大石橋發前八、一五 后一一、一五
營口着同九、一〇 一二、一〇
大石橋發前七、三五 后一〇、三五
奉天 同后三、五七

(淡谷木商)

本號開設營口東靑堆子發賣栢木方料栢木元料紅松料木油松方料元木大小檁子廿四尺栢木大杆木板此木材出售價廉採買客人不知歸此廣告 東靑堆子橋南

西海洋服店 歐米各國最新流行形 電話百二十七

諸鐵工製作 山船舶機械鐵工 便鐵道附屬鐵工 營口 川喜鐵工

天氣豫報

營口地方天氣豫報 自十八日午後六時至十九日午後六時

南又は西風晴れ

雜報

●お雪の落膽如何ばかり　時折り僞英語の怪氣焰を吐い、他人の物笑ひとなる件の姫裙永世街初音のお雪チヨット澁皮の剝けし馬面相に浮れ男の袖引ものも可なりあると見え不景氣〳〵と呼聲高い今日此頃此妓ばかりは暫しの小用にも立つ暇なき媚狀を呈し一點の花心は賞れ行き捗々敷が分けて別して牡丹の氣を遣る此妓の好き守となん呼ぶ色男殿なるが一夜逢ねば互に千秋の思ひぞして千々に心を碎く深い中、色と慾とやんは嚴めしき某所に勤める假りの名を箒木のの二股川渡り兼ねたるお雪女郎が心の中ぞ哀れなり、ツイ此間朋輩のおあいと共に公園散歩の歸るさ或るハイカラ男が同家に押し上りお雪を聘して一夜の春を買ひたるが何となく擧動の可笑しきに散々冷したるにそれと悟らぬお雪は鬚殿さんと堅い約束結んでより妾も尠からぬお金を絞り上げたるが近頃頓んとお顏も拜し參らぬ始末秋の扇と捨てられしかと思へば腹が立つやら悔いやら貴郎も少しや不憫と思召せと物詰れば折角の氣晴らしも興が覺めてハイカラ男も呆氣に取られ暫しは言葉もなかりしが流石は浮世の波風に揉れた甲斐あつて此處ぞ大事と心づきそんな手は桑名の燒蛤と落酒たのでお雪の落膽如何ばかりトヽヽヽ

●成駒の四苦八苦（遼陽）　今では雪の家に御輿を据へておる姐さん株の婆々藝妓成駒（三十二才）といふは昨年九月遼陽の開放と共に先登第一に乘り込み藝陽亭に巢を構へし當時は料理屋とて指を折る計りなるに撥持つ藝妓と名のつくものは成駒姐さん一人天下の折柄なれは彼方此方と持て囃され晝は三味線のひい張り合に忙がしく夜は誤娼賣の大繁昌夜晝大車輪の樣に稼ぐものから瞬く間に大枚千圓と云ふ黃金を貯へたるより此の千圓にて筆事公債を買うて置ふかいや〳〵公債は利子が少ない一層の事内地で田畑を買ふかイヤそれも餘り香ばしくない夫れよりは尙ほ働いて五千圓にもなれば東京銀座通りで自分の好きな呉服店でも出す樣にしやうかと洒落た思案に首を投げ柄にもない眞面目な考を抱く事もありたるが根が浮氣の性なれば上頭成駒の許へときどき通ひ來る建築班工夫頭平澤某と云ふ馴染客の江戶つ子は箆棒句調の勇み肌に濃艶と惚れ込み此の頃の妾しの氣は圭ゆゑ起る、癒す藥もやはり圭喃漢と有頂天になりおる内折角溜め貯へたる千圓は何日しかゼロとなり其の上にまだ不義の借金に首も廻らぬ迄に至りしが平澤某或る時痛く金融に困まり思案に昏れおると成駒夫れと見て柳田商店より一寸と百六十圓時借りとなし漸く其の場を繕いたるに件の平澤某は大石橋第三保線付になり遼陽を去りたるが迷惑なるは柳田商店に一平澤某に折合ふにも成駒の取次なれば直接掛合ふ事ならずさりとて成駒に掛合へばとて埒あかざるも打ち捨てる譯に行かざるより先頃から𢌞々と掛合いおれるに成駒は今更ら後悔し靑息吐息四苦八苦金策に悶へ苦しみおるを平澤某は知つてか知らずしてか遙かに大石橋にて舌をペロリ

●遼陽料理店賣上高　五月六日關東總督府の同地撤去後料理店の如きは尠からぬ打擊を被むるなるべしと豫想せし事實は左にあらずして五月分賣上高は四月分に比し僅かに千圓余の減差あるのみなり五月末現在料理業戶主は四十九戶なるが千圓以上の賣上を示せるは氣休千四百二十六圓吹寄千四百九十二圓余、東洋館一千三百二十九圓余、都館千百三十圓余、滿洲館千三百三圓塔下園千三百六十圓、遼陽館千七百九十六圓余、長榮館千百八十四圓余、藝陽亭二千五百一圓余、盛進館千二百二十圓、遼東館二千六百五十二圓、東肥館千八百七十圓、敷島館千百六十八圓、滿洲ホテル二千六百九十四圓、塔ホテル三千百一圓、塔陽軒千四百三圓余、常盤千二百七十六圓余、浩氣館千三百十八圓、玉家千七百七十一圓、梅迺家千三百二圓の廿戶なりと

家庭小話

屋外の掃除

溝、水溜などは常に淸潔法を行ひ惡臭を放ち蛆虫を生じ蚊蠅などの養成場とならざる樣注意すべし、惡臭は自然呼吸を淺くし胸筋を弱め肺患を起すの恐あり又蚊や蠅はペスト馬剌里亞の媒介者なれば之を未然に防ぎ蠅の蛆虫には過滿俺酸加僧謨、孑孑には石油を投ずれば何れも死するものなり又釜には疊を裏返して日光に曝しナフタリンを撒くをよしとす

●牛莊亭移轉祝宴　營口西洋料理店中常に一頭角を顯せる牛莊亭は從來の家屋にては來客に對し不便尠からざるを以て今度見晴し好き河畔の元第二營口ホテル跡に移轉し一大修繕を加へ室内の裝飾、器具其他萬事遺憾なく整備し一昨夜其移轉祝宴を催したりと

●山金のアイスクリーム　元祿家元祿夫婦を以て名ある平野町山金は老夫婦自製自慢のアイスクリームを去日より賣出せるが自から滿洲の本家本元元祿と來る客の鼻を挫き居れりと

●湯屋業者組合成る　營口にて湯屋をなせるものは總てに於て八軒なるも今日迄は各自思ひ〳〵の行動をなして中には衞生上不行屆の家もありて其筋より說諭を受けし事も一再ならず爰に至つて同業者の中にも眼ある者の常に之れを憂慮し種々奔走盡力の結果今度湯屋同業組合を組織し各自行動を一にし湯客をして遺憾なからしめん事を圖り之れが成立を祝する爲め昨日二本町菊水樓にて祝賀會を催せりと云ふ

●幇間軍票舞戻る　東京の櫻川親爺に勘當受け西廻りをなして終に朝鮮八道を喰荒し昨夏當地に來り扇一本と〇坊ヨの頭一つで以て浮れ男を甘くペテンに引掛け大枚五千五百五十五圓五十五錢を懷中にして跡白浪と消え失せたる軍票奴其後何れに姿を隱せしや二三日以前ニユクリ又候當地に來り古巣の日營ホテルに巢籠して居る由皆さん誤用心遊せと町雀より

●塵埃錄　ノ天民居士

世に食はず嫌ひといふ事がある甘いか辛いか更にその味ひが解らずに只何となく箸を着けることが厭でならない殊に人が美味そうに食うのを見せ附けられたり左なくも强て勸めらるゝと益々厭になつて來る他から見るとその嫌ひな所以が不可思議でならない如く當人に取ても不可思議な程厭なものであるこの樣な事は單に食物のみに限らず或は人と人、國と國乃至種々な事柄に於ても往々實見さるゝのである然うかと思ふと之れと正反對に見ぬ戀といふ事もあるその容貌風姿が果して如何であらうか、性質身分は果して善良であるや否や薩張り分りもせぬのにヒヨイとした事から妙にその人が偲ばれて遂には貌も姿も心も行も屹度優美に必ず善良に違ひないと一人極めに妄斷して一日も早く逢うて見度く悶ゆるのがお定まりである他から見れば繪を見て心を動かしたるも一層滑稽に見ゆるがこれも前のと同樣單り女のみにかぎらず種々の事柄に於て往々實見することである畢竟するに斯の如く極端に走つて留度を知らないのは注意の至らぬ爲めもあるが重もに無經驗から來るやうである、で思ひ切つて一度口にすれば意外に美味、試みに交際て見れば殊の外話せる人もある又之に反してヤツトのことで逢うて見ると折角の戀も忽ち醒めて寧そ逃げ出し度非常に屬望した事も明けて口惜さ玉手箱と來ることが珍らしくない咄しである要するに世事に處し樣と思はゞ兎角馬には乘て見人には添て見ることも亦一必要條件でがなあらう

廣告

營口青堆子街三百六十四號
硝子製造　菅野玻璃廠
THE OFFICE M. SUGANO'S GLASS MANUFACTORY.
No. 364, St. Chingtaizu, YINGKOW.

●煉瓦販賣
上リ竈ニテ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦ガ御望ナレバ當洋行ニテ御需メクダサイ
二本町　高坂洋行煉瓦製造

銘酒劍菱

遼陽停車塲向ヒ　池上出張店

美人投票開函（第十四日）

九百九十七　第三樓ゆき
九百二十三　万梅ぽん子
六百五十五　東京館次郎

四百八十三	日本館	たか
四百二十五	滿直し	年子
二百四十九	日本館	手遊
二百四十七	菊水	太郎
二百三十	東京館	すゑ
二百十一	第一撲	よし子
百八十	第三樓	花
百五十五	東京館	たね
百十五	滿月樓	歌子
百十	同邦亭	きく
九十	東城館	福八
八十九	金音	おさく
八十八	初々亭	雪子
七十三	樂直し	金八
七十	滿京館	小万
六十六	東城館	八千代
六十六	金城館	おさと
六十	金城館	金時
四十八	日營ホテル	おきく
四十五	滿月樓	みね
三十六	第一樓	春駒
三十三	万梅	若千代
二十八	金城館	金之助
二十三	第三撲	よね子
二十二	初音	あい子
二十五	金城舘	そめ
二十	醉月	お千代
二十	三洲撲	よし子

●投票諸彥に告ぐ美人投票中廿点以下のものは省きて掲載せず

▲一等純金指環　元價三十圓
●附賞最新流行形蝙蝠傘　一本
▲二等寫眞機械コダツク全　二十五圓
▲三等全紙二枚掛引伸全　二十圓
▲四等全紙引伸全　十圓
五等 半切引伸 六圓　六等 四ツ切引伸 四圓半
七等 八ツ切 三圓半　八等 カビネ 二圓半
九等 紀念帖 一圓半　十等 繪はがき 三打
營口元神廟街　三船寫眞館

副懸賞　月　日　某氏
一等　三味線　一竿
二等　目さまし時計　一個
三等　裕衣地　一反

雇入
熟練ノ技師及助手各一名入用希望者ハ至急來談アレ
營口元神廟街　三船寫眞館

公　廣
一各國洋服地一切大勉强可仕候間何卒御來見の上御買求之程を願ふ
並に各國洋服仕立料も大安價に仕て差上可候間何卒御注文を願ふ
元神廟街日營貿易筋向と
東營口元神廟街　寶泰祥　福興洋服所

石材大販賣
石灰
英洛洋行（營口西北街）（電話三二）

醇良日本酒
サツポロビール
大販賣　和洋雜貨　洋酒化粧品　酒類　食料品
千賀洋行　奉天鐘樓南大路西
千賀洋行支店　奉天小西關大街路北
孔雀印平野水

氷
防暑　衞生向適　飲料好適　田庄臺大盛貯氷公司
發賣元　營口元神廟街成功號三階　田庄臺大盛貯氷公司販賣部（電話一三四）
特約店
大連信濃町市場前　大原商店
營口二本町　丸山氷室
營口永世街　衞生軒
營口永世街平野町角　山田氷室
營口第二市場前　松木氷室

滿洲第一湯崗温泉
風景佳絶、旅館、料理、遊技完備
效能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀瘡
大石橋○—營口○　海城○　湯崗温泉全停車場□　遼陽○　奉天○

松岡病院
●内科外科眼科婦人科診療
入院治療を諾す
殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血淸療法を施す
元神廟街第百三十四號
全科醫士　松岡玄雄（電話一五一番）

移轉廣告
今般西北街代々木商會隣家屋に大修築を加へ移轉仕り候間舊倍之御愛顧之程伏して願上候也　牛莊亭白

產婆　營口永世街甲第百〇三號第二市場停車塲西側　川口榮子

古料理
滿月　平野町（電一六二）
滿月支店　平野町入口
店主　青木勝惠

和洋會席御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
營口永世街二本町　日本館（電話百三十）
各位樣

一和洋御料理　遼東館　遼陽城內東街
本館は遼陽城內第一繁盛の地にあり內外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得へく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彥に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

靴製造 并に修理

右安價を以て確實迅速に調製可仕候間御注文の程奉願上候也

營口元神廟街郵便局官舍向ひ

桑田靴店

一瀛船貨物運搬業
一浮船及瀬取請負業

右營業精々勉強致し迅速御用弁可仕候

營口南永世街角市場より西へ入る

遼河運輸 **同濟公司**

上海 **中井洋行**

專運日本各式紙料

本行設已歷多年會與日本製造名廠有專約凡販開紙料印書籍各式紙莊票同棉紙紙張日本機器連史紙五彩毛邊各色草紙其他各件紙料一切統由行出售字畫墨貴安惠顧至江西路五十一號門牌可也

中井洋行

東營口西北

裕和盛

電話八一番

東清鐵道 遼河 貨物運送業

雜貨商

新荷着

朝日ビール、日本酒澤の鶴、洋酒、食料品、和洋鑵詰、食器、內外煙草、葉卷、エジプト、文具、化粧品、金物類、肥前白米、醬油、酢、木炭、其外色々

印並に小賣

彩票

每月 大連 南洋 湖北 發賣

本店 長崎　支店 芝罘 鐵嶺 旅順 京城 仁川 木浦

新荷着

▲板材木▲木炭
▲生石灰▲竹、疊
▲亞鉛板▲洋釘
▲日本米▲石材

營口永世街八十號

喜久洋行

(電話百五十二番)

南 獅

キ キ キ キ キ

夏もの大賣出し

永世街第貳市場前

木村呉服店

(電話八八)

六月十五日より六月二十日まで

出張 鐵嶺 鐵嶺倶樂部內

日本及清國政府認可招牌爲記

胃症良藥

總售處 日本東京大阪 山田安民大藥房

寄售處 營口永世街 電話百九十七番 回天堂三木大藥房

啓者此藥爲日本海陸兩軍諸大名醫及藥劑官五名共同研究極力參考始得發明其劑其主効之顯著久已名馳內外誠蓋世無比之良藥也倘蒙 仕商惠顧 請認明本舘招牌爲記庶不致誤

胃活專治効力 隔食。胃弱。多年胃弱。胃炎。胃痛 胃痙攣(即或時疾筋)食物不進。胸痞(食物不消化故胸積弊)宿醉(即昨日飲酒今日當醉)惡心 嘔吐(吐見食)吐酸嘈雜。膨漲。或小兒吐乳等胃症若少服之則 靈驗如神云

胃病形骸 胸張困苦○食物不進或食過多○胸漲痛 打臭噯○吐粘涎○吐酸水○血氣逆上則目昏花○腰腿發 冷○或大便不下○或時下瀉○或腹內無力氣不時憂鬱○ 顏色青黃○○身體困倦○或勞働而無力○且無記憶○若少 出力則厭○○不時好睡此等症皆胃病之形體也

價洋 三日所服藥料定價洋 一角○八日所服藥料定價洋 二角五分 十七日所服藥料定價洋 五角○三十七日所服藥料定價洋 壹元

○板材木　○金物類　○疊建具　○椅子テーブル　○洋燈類　○鰹節雜魚　○酢醬油　○其他雜貨色々 新荷着大安賣

○蚊張　○金庫　○花蓆　○ペンキ　○文具　○紙類　○罐詰

㊂石

營口西北街 **石光洋行**

遼陽西門外 **石光洋行支店**

資本金參拾萬圓

日清合股

昌

營口元神廟街第貳九八號

滿洲昌圖株式會社 **營口分局**

總局 盛京省昌圖府東街

既設分局 牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽

本公司經官准認眞開辦左開生理

一、東清鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨滙兌
五、各支店所在地棧房

兼辦關內外鐵道又海外轉運(與大淸通運公司連接)東淸鐵道沿路樞要車站分局現方在設備中凡委託運貨客愛顧者請親自到本賬房及各處分局賬房面議爲荷特白倘途中偶有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按卸地市價包補此

工

營口元神廟前

飯塚工程局材料部

(電話百三十五番)

弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候

一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

濟生八方製造發售廣告

啓者敝社長山田氏夙爲衛生起見詳査日清韓人之体質博探東西古今之神秘研究多年始得左開八種之靈藥于茲同志相集豫備資金一十万元創立日華製藥合資會社即經官准現將本社開設於營口永世街甲一六六號精撰藥材留意製劑自造所發明之濟生八方克己從廉專向日清韓各地方出售且卜要地設在分舖或寄售處以期衛生之洽及而圖十劑以上則爲躉賣特行折價切盼中外貴客監其誠實無欺藥效亦異尋常陸續賜顧是荷

仁 **爽快丸** (芳香清涼驅邪避瘟誠是常備之靈丸也 兼消飮食之毒兼淸口內即是食後之要劑也 忽去口內惡臭能美音聲最爲接客之佳品也)

義 **腸胃散** (健胃固腸速化飮食眞是大下之靈散也 縱雖多年難症服數次無謂未曾全癒 則爲小兒下蟲之特效藥其名嘖々于世)

禮 **婦女散** (不論各種常症並胎產諸患靈驗如神所謂婦人專用之妙散也 凡婦女已迄妙齡之後須備此藥常爲袖中之至寶)

智 **鎭腦散** (專鎭頭腦並和神經藥效顯著誠是未曾有之奇方也 快適大小二便以解秘結而和腹內最爲古今之良劑也)

忠 **消熱丸** (消散邪熱立使心身舒暢神效偉大眞是必携之靈丸也 縱雖危急熱性當其初期取用靈應不誤立以全治)

信 **掃毒丸** (專治楊梅瘡毒以及一切毒瘡藥力無比眞可驚之秘劑也 特有掃盡小兒胎毒瘡恰似霜風吹枯葉之奇効)

孝 **清明水** (專治各般眼疾之靈水不論輕重一經用過立有靈驗盲者復明 能適一切耳患之神液不拘久暫一過點用奏效異常聾者再聰)

悌 **瘡傷膏** (專治瘡傷等身面諸疾之妙膏即一擦用應效立著痛癢忽止 又遇蜂蝎叮螫等諸虫毒宜將此膏擦敷患處疾痛立治毒氣悉散)

營口永世街甲一六六號

日華製藥合資會社 敬白

謹告

弊店儀今度彌生跡を引受け新來の年者并形も揃へ料理は勿論御待遇家事萬端一大刷新を加へ御手輕御淸遊に適する樣店中車輪の大勉强何卒倍舊御愛顧の程伏して奉願上候

店一同

御客樣

醉月

自 煉瓦 ● 瓦

其ッ各種石材販賣

營口青堆子

加州組

電話八十六番

營口永世街第廿八號

大原洋行

(營口無比廉價販賣す)

本場醬油、味噌、木炭、酢、淺草海苔、罐詰、乾物、日用、漬物類、清酒澤龜特約 東京タクアン 其外和洋酒類

宮門抄

二十三日 商部 鑾儀衛 廂黃旗值日無引 見 新授湖南臬司莊賡良到京 請 安 植公續假二十日 召見軍機 莊賡良 商部遞封奏二件

上諭恭錄

二十三日奉

上諭前因京師雨澤稀少當派禮親王世鐸等虔詣覺生寺等處恭代拈香旬日以來尙未得雨農田待澤彌殷實深焦盼允宜再申籲禱朕于本月二十六日親詣 大高殿拈香 並派恭親王溥偉虔詣覺生寺恭代拈香 時應宮仍派順承郡王訥勒赫 昭顯廟仍派貝勒載洵 宣仁廟仍派貝勒載濤 凝和廟仍派貝子溥倫同于是日分詣拈香欽此

譯論

論中國留學生之措置

譯日本報

我文部省。爲制定中國留學生取締規則事。致令留學生中心懷不平。惹起學界之大風潮。今雖倖得安靜。然無幾時。至近日而學生又忽釀生紛紜。稍有動搖之兆矣。蓋此事爲單以留學生問題之表形而發現也。世人對于此事。雖無甚重視之情形。然察其影響。則就中極有深遠之意味。蓋今日之中國留學生者。恰與我日本維新時之洋行生。（即出洋留學生。）有同一之位置焉。倘他日中國實行變法。自强之政策。則彼學生之人物。即將來各處身於中國之要路者彼等對我日本。其所懷抱于腦中之感情。自思於中東。兩國間之實際關係。將大有影響者也。現在中國人之留學於我日本者。殆達萬數。實可謂有望外之盛典。此爲中國時運之所自致。然亦由我日本未嘗無招致之運動也。今令彼將來握中國之實權者。畧與我日本人。致養成唯一之思想俟其當中國之權。使中東兩國之關係。更結圓滿。則中國留學生之現狀。果能副斯志望否。若慮其或不幸而產生背此之結果。則須設法改良。誠爲今日之急務矣。而彼留學生之事勢。徒監彼等之品行。施彼等之取締。處理其紛紜之末端。實不足以副當初之志望。若更據其根本之主義。亦頗有極須研究者矣。由是思之。今中國之出洋大臣。與我日本維新時之遣外大臣。不能以同一論之也。今中國出洋大臣。考查列國之政體。將來歸朝之後。抑費幾度之星霜。而可定其憲法之制度歟。雖未可定。然早晚支那人陸之維新。其一旦爲立憲之國家也。必矣。于時在我邦留學生中之過半。確可以與左右中國之運命。庶不負我日本招致彼留學生之本意也。今若無改正之方途。而徒欲令彼留學生。致同化於我日本之人物。或養成於日本人之思向。使彼等歸其本國。躍身當其邦家之權衡。吾人對此點。果何如乎。是實反當初之主義。而其結果。實破壞我招致彼等之全策。却令彼等釀起反對之風潮而已。今日中國學生問題之中樞。宜在於此。若於此點。不得適當之解決。則中國之留學生。寧不如拒絕之爲愈。復何遑欲將其品行取締歟。以吾人見之。今中華人歸東和化之情態。原非斷不能遂之事勢。且非甚難之事業。若如今日之組織。或政法。或兵學。或教育、或工業。唯教此等之學問而已。而今日於精神之教育上。不施以切實之工夫。則此舉決不能成志望也。夫殷鑑不在遠矣。據聞彼留學生中。既畢業歸國者。評我邦之言論。蓋知之矣。故於教育中國人之學課。速當此際。施設一大改正。而設置精神教育科。且制定令全部留學生。必不可不先修此科之規則。不問其以何等之學志凡受我邦之教育者。則不可不從精神上之修養。而學校之設備。須有適宜之威嚴。精神上之威嚴。委之於社會之感化。單以在我邦留學兩三年之工夫。使其思潮與我邦人。若合符節。如此則所勞甚小。而所期則甚大也。夫華人留學之可否。致成疑問。其罪實在教育之方法。惟冀教育華人之當局者。從速覺醒。定其方法。庶不負當初之志望。而已。

中外要聞

●浙紳電請力持路事 蘇杭甬路英人草約過期已久經該省紳商集股自辦甚爲踴躍現下情形所集之股已儘敷該路之用乃近日滬上謠傳尙有 使屢催換立正約等語聞經該省紳商湯壽潛劉錦藻等特電致京畧云滬上謠傳英使屢催換蘇杭甬路正約乞大部力持云云并聞電中有從速不速限辦不辦彼實自誤浙路浙辦權衡理法必能謝絕英人等語全電約百十字皆極簡括用密義正詞嚴云

●武員請閱五省兵操 俄國駐京使館武隨員額國羅於本月初九日出京擬往兩江兩湖山東等處游歷并欲查閱各該省兵操昨經俄璞使向政府照請電咨各該省官吏一俟該武員到步望爲接待并保護一切云

●外部電復兩大臣游和不遞國書 和女主屢問國書一節經駐和陸使電之戴端兩大臣復經兩大臣電致外部請示辦法并有丹瑞那威如何辦理等語聞外部電復畧謂和國前係奉 旨游歷不遞國書丹瑞等國亦事同一律云云

●教務不入商約辦理 現在改訂通商條約漸次就緒義國領事聲稱謂該國無甚利益之欵可言請以教務列入約內等語此蓋彼中欲見好我國之意但政府諸公以爲若徑行將教務列入誠恐適爲彼索酬之地且此事於我國實屬無甚益處故已行知商約大臣張袁兩宮保略謂教務一層將來另案辦理云

●烏里雅蘇台參贊電覆俄設領事事 俄人擬在烏里雅蘇台設立領事一事前經政府發電該處參贊大臣查察情形辦理現經參贊大臣覆稱該處貿易俄人不多交涉亦甚少向來遇有大案亦不過咨商庫倫領事辦理俄領之設與不設于蒙民亦無甚損虞請與俄使商定辦法以便遵辦云云

●英使催詢扣留皮貨 陝西鳳翔釐局前因有皮貨一宗查與釐務不符因將該項皮貨扣留在案查該項皮貨據稱係英商仁記之物現經英使向部催詢未知如何辦理也

●條陳警務 內閣中書蔡肇乃戶部司員朱允中公上警部條陳略云京師創辦警政特設專部最爲全國警察所注目但內外城辦法常有不同宜按病用藥以求完密外城尤當注意故該員等先將外城改良三十事條陳警部望即實行并聞條陳中有破除迷信監察廟會創設警報監察戲文添整廁所改良土車撥水並請密派多數稽查等事云云

●法相之申明四要 法國首相薩里昂於議院申明政府施政之大要一政府當抽課所得稅二政府當分離宗教與教育三政府當制限工匠勞動之時刻四政府當以平和主義爲外交宗旨云云

●俄礦師勘查東蒙 朝日報云俄國政府自日俄戰後立桑榆之計專注意於蒙古汲汲經營不遺餘力茲聞俄政府現已派陸軍大佐某君統帶礦師工程師赴東部蒙古勘查地勢路礦以資他日經營地步

●胡使電俄乘機經營滿洲 東京時事報北京特電云據黑龍江歸客云俄軍前經派員勘查齊齊哈爾抵海爾拉鐵路現已開工築路又云中俄議約久行停議毫無進步爲世人所共知茲聞駐俄胡欽使日前電致外部略云俄國欽使遷延議約係其狡猾手段若我國隨其計不速訂約則俄國乘機經營滿洲究致其勢牢不可拔於我國有百害無一利宜催俄使趕速議約以爲抵制按中俄議約遷延未决者係俄國外交手段於中國無一利誠如胡使所言吾人請當道者三致意焉

●談哈薩克情形 聞塔爾巴哈台來人云該處所屬哈薩克民素昔窮苦愚昧不知經商之事故商務利權均爲俄商把持該處雖有內地商人勢力甚微又該地哈薩克人有屬中國管轄者窮哈遊牲逃往古城一帶時被驅回近年多逃入俄界其不逃往俄界者亦半俄教藉爲護符而官場不知撫慰徒事剝削因之窮哈日益逃散云

●華盛頓傳伍侍郎告退事 東京朝日報華盛頓特電云伍秩庸侍郎慨官場之腐敗擬奏請開缺在滬養老按此電確否雖未能悉然我國官場腐敗殊甚專事巴結鑽營雖有諳練能幹之士如不巴結鑽營竟爲所排擠比比皆是夫以伍侍郎之才品與博學仍永處侍郎之地位豈非無故哉蓋華盛頓人士常聞我國官場腐破情形今復見伍侍郎告假回籍直爲擬議之詞抑亦伍侍郎確有告退之意乎

●俄請派領事駐奉 大坂每日報北京來電云俄國駐華使聞日美兩國派駐總領事于奉天現已電致本國政府請趕速派總領事駐奉天擴充商務以勿落人後

●紀改革官制事 東京日日報北京特電云上月杪張袁岑周四督及趙將軍會銜電請改革官制一節已經電達茲聞爾後政府與張袁岑周四督及趙將軍屢費電商已有成議一俟出洋大臣回國即行改變聞其內容在各省開設財政司掌司提學司輸傳司警政司民政司並置臨法兵務督糧稅務工商交涉六道均歸地方大吏節制而總督將軍藩臬寺一律裁撤但留巡撫府州縣等官與六道辦理各省事務云按改變官制早有其議非由今日而始然是否有成議與其內容如何吾人未有所聞唯隨見照譯以資參攷耳

雜報

●盜首羅綱 昨聞河北來人云有海盜二等頭目王 者先係本埠民後移於新民府屬之小黑山地方居處曾於海上刦掠手槍銀洋三千餘元潛携歸家前晨於河北車站買票詎遇關裏四客乃日前被王脅刦船內綁爲質票鋼逼十日磬其所有以贖牲命空囊旋歸客等見王裂眥憤恨向前捉捕王疾奔竟執洋錢布袋躍身入河客等追至岸上擲石擊之時來巡勇憲兵詢問客乃具訴原委憲兵命盪舟去捉即行執上錢袋亦未沉大即拷鞫該盜供認向牽多賊遂解送於河南云

●計復夫讐 埠東北六十里虎獐屯昨有人來云該屯有一梁姓孀婦撫孤度日其故夫梁某曾爲里胥因靖地面遂與該處青皮有隙同鄉一匪棍梁老疙疸者與結次骨之讐乃乘前年兵荒之際以槍斃某并斃會上二人當時雖經海城縣尊王大令派差緝拏奈差役素懼梁兇橫手辣恐遭反噬以致因循寢案該婦痛夫慘死誓報其讐奈僅孤兒勢不遂志忽於今春聞知梁常過其門乃飾容門前僞作賣俏情形見梁來則彤輪色授若甚有情梁每放胆託故入其門則見婦之戚眷伴於室婦乃假作殷勤送迎懇摯致梁神魂顚倒莫知所爲逾兩月餘竟未到手而外人多有蜚語謂婦無耻將忘夫讐云云詎於本月十六日婦乃託言患病遣子邀梁夜來煎藥梁聞命之下渾身瘙癢意謂今宵可入港矣即刻奔至入室見婦掙命哀號大爲沮興即生爐煎藥及湯沸時梁已更深婦慰梁暫向內榻眠歇令子以代其勞梁則奢想迷心度婦別有用意如遵慈諭即向榻眠不意天奪其魄俄項鼾聲如雷婦竊掣洋刀向梁頸間力切剖刺一聲如瓜分裂立刻斃命次日婦同鄉會進城自行投案經邑侯管大令躬臨檢驗婦於屍場猶曰得報夫讐雖死無憾云云

●盜牽被捕 又聞河北來人云前晨所捉王姓海賊當被拷供曾牽多賊又牽一密偵高姓借給槍械主使其於海上捐刦昨尙酬給洋一百五十元云云咸曰高於埠外居住少年奢侈好衣美服不患人指前曾暗爲捕賊跟綫得捕四賊因之軍憲雖許其暗查尙未發給差劵乃因被賊所牽昨夕秘派警監長胡璽亭掩捕高某到案云

營口捐助舊金山華僑震災銀洋字號姓名列左

西帮綠簿計左

世義信	助洋十圓	大美玉	助洋十圓
協成乾	仝十圓	中興和	仝十圓
志成信	仝十圓	合盛元	仝十圓
大泉玉	仝十圓	元吉生	仝十圓
錦生潤	仝十圓	長盛川	仝十圓
日昇昌	仝十圓	大盛川	仝十圓
郭智卿	仝十圓	戴希珍	仝十圓
喬紫高	仝十圓	世興厚	仝十圓
董蘭軒	仝十圓	蔚泰厚	仝十圓
萬有富	仝五圓	錦全昌	仝五圓
巨那玉	仝五圓	同順裕	仝五圓
洪泰號	仝五圓	大德隆	仝五圓
獨愼玉	仝五圓	晉源湧	仝五圓
復新永	仝五圓	桐生豫	仝五圓
曹恕臣	仝五圓	沅吉生	仝五圓
廣聚增	仝五圓	錦隆德	仝五圓
謙會成	仝五圓	日生達	仝五圓
隆和玉	仝五圓	同順成	仝五圓

（未完）

廣告

啓者敝館現在擬定推廣報務新增機器以便印刷各種冊籍單張凡大而書籍廣告傳單及小而商報名片等類皆能妥實迅速定期取件並能代譯日英各文一切紙料悉從東洋自行運到各式既全價尤廉較之赴購本處者其價目格外公道 貴官商賜顧無論何件均可訂印且不拘多寡一律定價以廣招徠務乞隨意惠臨面訂一切可也

滿洲日報帳房謹啓

爲替相場（六月十八日）
日本向　百〇二圓（齋票百圓に付）
上海向　七十一兩（同）
天津向　一百三圓六十二錢五厘（百弗に付）
芝罘向　一百〇三圓六十二錢五厘

日本品最近物價表　加藤洋行
紙類
一半紙　一〆　二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙　仝　七圓五十錢
一仙花紙　一帖（六十枚）　六十錢
一仝狀袋　二十枚續　三錢二厘以上四錢　百枚　十三錢以上十八錢

室內裝飾及寢具　矢野洋行
一蒲團　三枚組　六圓九十錢以上六十五圓
一座ブトン　十帖　八圓五十錢以上三十五圓
一疊　二圓六十錢以上三圓
一蒲椽　十枚　八圓
一麻綁通　一疊敷　三圓
一綿綁通　仝　三圓五十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription　4 cts. a copy
80 cts. per month.

本紙定價
一枚ニ付　銀四仙
一ケ月前金　銀八十仙
半ケ年前金　四弗八十仙
一ケ年前金　銀九弗六十仙

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館料理　第一樓　營口ホテル　元神廟街九十六號（電話八四番）

料理　入船亭　永世街百八十三號　谷初次郎

御料理並ニ温泉　毎日新湯　一力　營口永世街　店主　堀万助

旅館　日營ホテル　河岸通り　店主　井上源吉

料理　東京館　永世街八十六號　店主　村上京四郎

旅館　東京樓　營口新市場前（電話一八七番、四四番）　店主　熊田兼次郎

旅館　東茂旅館　西北街百七十三號正金銀行西三程

料理　千鳥　元神廟街百三十三號　店主　吉住善藏

料理　沖の島　永世街百六十四號　店主　中川彌三郎

料理　吉野亭　永世街八十六號　店主　坪田正好

旅館料理　高砂ホテル　高砂亭　西北街（電話一四五番）　店主　片山小みつ

旅館　大和館　永世街三十四號（電話十一號）　店主　前田九一郎

御料理　梅廼家　營口二本町　田村瀧太郎

料理　鶴梅　滿洲門街第百〇四號　店主　田島彌助

料理　まんなをし　永世街字二本町三百五十九号　店主　和田常松

和洋料理　公樂園　南永世街

料理　喜樂亭　營口平野町

旅館　東雲旅館　永世街七號　店主　谷口今朝太郎

料理旅館　醉月園　滿谷旅館　永世街百二十七號

さるそば　第一更科　さるそば　第二更科　營口　永世街

和洋料理　松月亭　營口元神廟街一四三号　店主　住松信太郎

料理　都樓　平野町　店主　坂本ちか

御旅館　品川館　營口永世街一六五號

奉天旅館料理屋案内

商人御定宿　瑞豐館　奉天小西關大街北側　館主　河野嘉吉（電話　號）

會席御料理　高等御旅館　天神樓　奉天小西關大街北側　温泉付大勉强キレーデライシヒ（電話　號）

旅館料理店　日盛館　奉天小西關大街南側　館主　入江熊男（電話　號）

旅館料理店　梅松館　奉天城内灰市街東華門宮殿東側　館主　押尾富次郎（電話　號）

御料理　梅ケ枝　奉天小西門より一丁西の辻北入　館主　辻井ムメ

高等御旅館　茂林館　奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店　日章館　牛肉すき燒　雞肉　日章亭　奉天小西關大什字街南へ入（電話　號）

御旅館　瀋陽館　奉天小西門外大街路北

さるそば　更科　營口支店　奉天小西門外金城館前

御定宿　第二東京館　奉天小西關第五分局八〇一〇號　館主　松田平四郎
今回大改良を加へ旅館專業にし御客樣の便利を斗り内湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館料理店　新日奉館　奉天大西門際　館主　濱田フサノ

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業　日營ホテル支店　主任　林德松

御料理會席　樂水館　主任　親枝國提

旅館西洋料理　遼陽館　主任　永瀨宇吉

旅館料理業　公陽館　主任　吉川秀基

御料理會席　末廣屋　主任　山根初之亟

御料理　色々應御注文　凱旋亭　主任　古谷庄太郎

旅館御料理　遼塔ホテル　主任　木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル　遼陽倶樂部　營口東雲館支店　主任　谷口今朝太郎

會席　玉家　主任　西野治三郎

和洋料理　御旅館　滿洲ホテル　遼陽驛前西町一七号　上松榮治郎

旅館　御料理　扶桑館　奉天大西關大什字街　第五分局千〇六十八号　館主　堀田ハル　電話　号

日本石炭新荷着
多少に係らず御用仰付られ度候
新玉倉庫　綏定門街　電話百五七

●元祖●（アイスクリム）
山金
●斯道の元祖老夫婦が多年の經驗を積みし
●味を試み（アイスクリム）の由來如何を知れ
（清國營口平野町）

御料理　本店　金城館　奉天小西關新東富街々（電話十九）

御旅館　金城ホテル　奉天小西門街大什字街（電話一〇）

御披露
追々暑氣に相向ひ申候處各位倍御淸榮奉大賀候陳は今般營業擴張と同時に營口支店に於て在來の婦女一切入れ替へ江戸生粋の美人數十名を呼寄せ候從つて趣向も更に千編一律遊びにあかせられ候御方樣には一入の興味を感せらるへくと奉存候尚樓上等も暑さに應じ設備を改め候間御納涼旁わつさりと晩餐を召さるゝにも好適と存申候御散歩の折柄是非共御試遊被下度伏て奉願上候

御料理　支店　金城館　營口永世街
御旅館　支店　金城ホテル　營口永世街（電話八三）
御料理　支店　金城館　大連市吉野町
御旅館　支店　金城館　大連市吉野町

會席料理　三日月　營口警務課前南江入る

和洋御旅館　御料理　奉天館　奉天軍政署指定旅館　奉天城内鐘樓南大街（電話十四番）

日淸倶樂部　奉天城内大南門裡大街（電話十五番）
麵麭製造　西洋洗濯　靴製造　日本大工　理髮　裁縫
氷　卸小賣所

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

各種雜貨一概俱全
加藤洋行
營口東海關後街

高等麦酒スペシャルライト

廣告
スペシャルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に醸造せるものにして原料精撰風味高尚夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり

六月
醸造元　大日本麥酒株式會社
滿洲一手販賣所　營口元神廟街　關東公司雜貨部（電話五番）
分店　奉天四平街　電話十三號　關東洋行

安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半
温泉場ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁
眺望絶佳今ヤ新緑滴タルノ下清流掬スベキノ仙境タリ

滿韓境上
唯一樂園
五龍背温泉

當温泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ
効能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂麻質斯、黴毒、癩病等ニ特効アリ